

統計調査ニュース

No.360

平成28年(2016) 11月



2016年の統計研修と今後の展望

総務省統計研修所長 清水 誠

統計研修所は、総務省の施設等機関として、公務員の統計能力の向上と統計家の育成のために専門的研修を実施しています。

近年、データが大量に存在する中で、行政、医療、教育等の様々な分野で、統計の実務や分析の経験が十分でなくてもデータを科学的証拠として仕事をする必要になっています。

そのため、2016年9月にオンライン講座「初めて学ぶ統計」を立ち上げました。同講座は、インターネットでYouTubeを視聴することを基本としています。内容は、入門課程の初歩的な段階に相当し、データの見方と使い方を中心に、データの集め方に遡り基礎的な知識を提供するものです。全体を5章とし、各章とも1時間程度に収まるように構成しています。動画は講師の映像とその説明内容を組み合わせたもので、10分前後で区切り、スマートフォンやタブレット端末で、仕事の合間や通

勤時にも受講できるように工夫しています。さらに、同講座には、映像だけでは十分説明することができなかった解説を含めた「初めて学ぶ統計」というテキストも存在するので、併せて利用することにより理解が深まることが期待されます。

「初めて学ぶ統計」は記述統計を始めとする基礎的な内容を概略的に網羅していますが、推測統計に関する内容をほとんど含んでいません。このため、同講座の上位版として、2017年度から推測統計に焦点を当て、データを深く理解するための新たなオンライン講座を並行して開講する予定です。

このようにICTを活用した講座を開講していきますが、統計研修所の伝統的な魅力は集合研修にあります。入門課程では統計調査の企画、実施などの実務的な基礎知識を学ぶための「統計実務者向け入門」とデータのまとめ方や主要統計の見方などを学ぶ「統計利用

者向け入門」を開講しています。

統計家を目指すとなると、よりレベルの高い研修が必要になります。統計家は大量のデータを客観的証拠として社会に発信する情報に集約するため又は政策・実務を企画・推進・評価するため、適時・適切な統計分析の成果が求められます。

「本科(総合課程)」は、その名のとおりに、3か月の間に、各種行政施策の立案・評価に必要な統計の理論、知識、分析手法等を幅広く学び、社会・経済の実際のデータを用いた演習、分析、研究などを通じて応用力を養成する講座です。公的組織の人事管理やマネジメントに携わる方々には、人材育成という長期的・大局的視点から職員の積極的派遣をお願いします。

統計研修所は、2017年度も国、地方公共団体のニーズを踏まえた新たな研修を開講する予定です。御支援、御参加をよろしくお願いたします。

目次

2016年の統計研修と今後の展望	1	統計データ・グラフフェアの開催について	6
I「2016年度 統計関連学会連合大会」に参加して	2	小売物価統計調査(構造編)平成27年分結果の概要	7
II「経済統計学会 第60回全国研究大会」に参加して	3	「平成28年秋の叙勲」	
第64回統計グラフ全国コンクール入選作品決定	4	／平成28年度統計研修受講記	8
		中核市発とうけい通信⑦	9

統計局、政策統括官（統計基準担当）、統計研修所及び（独）統計センターは、統計技術の研究その他統計の改善発達に資することなどを目的として、統計関連の学会に団体会員として加盟し、大会での発表を中心に積極的に参加しています。

平成 28 年 9 月に統計関連学会及び経済統計学会が開催されましたので、その概要を紹介します。

I 「2016年度 統計関連学会連合大会」に参加して

平成 28 年 9 月 4 日（日）から 9 月 7 日（水）にかけて、石川県教育会館及び金沢大学角間キャンパスにおいて、2016 年度統計関連学会連合大会が開催されました。

本大会は、日本統計学会、応用統計学会、日本計量生物学会、日本計算機統計学会、日本行動計量学会及び日本分類学会の主催、統計教育大学間連携ネットワークの共催による連合大会となっています。

今年度は、以下のテーマについて発表講演を行いました。（敬称略）

9月5日（月）10:00～12:00 公的統計における新たな地平の拡大ービッグデータと行政記録の可能性

○諸外国における行政記録データの公的統計への活用状況について

伊藤 伸介（中央大学・統計研修所）

○調査統計を包含した「統計情報」の整備に向けて
植松 良和（政策統括官（統計基準担当））

9月5日（月）13:00～15:00 産官学共創の統計科学・データサイエンス人材育成基盤整備Ⅰ

○中央・地方行政職員の統計能力向上のための研修基盤整備～MOOC型講座開設

清水 誠（統計研修所）



大会発表の様子

9月5日（月）15:30～17:30 産官学共創の統計科学・データサイエンス人材育成基盤整備Ⅱ～次世代型統計教育における科学的探究力

○“社会人のためのデータサイエンス・オンライン講座”の実績

吉田 明子、佐伯 真奈美（統計情報システム課）

9月5日（月）15:30～17:30 国民経済計算および資金循環統計における2008SNAの導入

○国民経済計算の2008SNA対応等における年金の推計
吉野 克文（政策統括官（統計委員会担当室））ほか

9月5日（月）15:30～17:30 超高速グラフ列挙法と統計学への応用

○公的統計の地域別集計分析への利用可能性
谷道 正太郎（（独）統計センター）

9月6日（火）13:00～15:00 公的・民間統計（2）

○就業構造基本調査のデータを用いた初職を継続する者と離職する者の属性に関する分析
長尾 伸一（労働力人口統計室）

9月7日（水）10:00～12:00 社会経済の長期的変動に対応した世帯概念の再構築

総合討論者：山口 幸三（統計研修所）ほか

9月7日（水）13:00～15:00 公的統計の精度改善に関する多角的取り組み

○経済センサス - 活動調査のためのロバストな比率補定の方法について

和田 かず美、坂下 佳一郎（（独）統計センター）

○事業所母集団情報の整備方法及び経済センサス - 基礎調査の見直しについて

高部 勲（経済基本構造統計課）



集合写真（金沢大学にて）

9月7日(水) 13:00～15:00 公的・民間統計(3)

- 労働力調査における結果の安定性に関する一考察
尾中 裕一(労働力人口統計室)
- 我が国の「企業グループ」の状況について－経済センサス・基礎調査の集計結果から－
柳下 央(経済基本構造統計課)
- オーストラリアにおけるオンデマンド集計の現状
谷道 正太郎((独)統計センター),
伊藤 伸介(中央大学・統計研修所)ほか

- 平成 26 年全国消費実態調査のオンライン回答状況の分析
杉田 貴司(統計研修所),
寺田 義英, 岡田 悠里, 佐藤 朋彦(消費統計課)

9月7日(水) 13:00～15:00 統計教育

- 連続・離散変換による統計教育用擬似データ作製の試み－全国消費実態調査を題材として－
馬場 康維, 岡本 基(統計数理研究所・統計研修所), 野呂 竜夫(統計研修所)

Ⅱ 「経済統計学会 第60回全国研究大会」に参加して

統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研修所は平成 27 年度から経済統計学会に加盟しています。

平成 28 年 9 月 11 日(日)から 9 月 13 日(火)にかけて、鹿児島大学郡元キャンパスにおいて開催された第 60 回全国研究大会では、以下のテーマについて発表講演を行いました。(敬称略)

9月12日(月) 9:00～10:30 政府統計マイクロデータの作成・提供における方法的展望

- 統計メタデータアーカイブの展開可能性
小林 良行(統計研修所)
- 政府統計の作成における一部調査(標本調査)の方法的立場
山口 幸三(統計研修所)

9月13日(火) 9:00～10:30 公的統計データの二次的利用促進に向けた新展開

- 座長：坂下 信之(統計研修所)
- 公的統計の二次的利用の促進に関するわが国の取組状況
中村 英昭(政策統括官(統計基準担当)),
平澤 鋼一郎(調査企画課)
 - 公的統計マイクロデータの新たな利用形態について－わが国におけるオンサイト利用(リモートアクセスによる)の実現に向けて－
谷道 正太郎((独)統計センター),
佐藤 智哉(政策統括官(統計基準担当))
 - オンデマンドによる統計作成について－オーストラリア統計局の Table Builder を中心に－
三神 均((独)統計センター),
伊藤 伸介(中央大学・統計研修所)ほか



大会発表の様子

9月13日(火) 10:40～12:40 人口統計における現代的課題

- 平成 27 年国勢調査の実施状況について
伊藤 正一(国勢統計課)

9月13日(火) 10:40～12:40 日本の統計史を考える

- 統計家としての柳澤保恵
小林 良行(統計研修所)
- 戦前と戦後の失業に関する統計調査
山口 幸三(統計研修所)



集合写真(鹿児島大学にて)

第64回統計グラフ全国コンクール入選作品決定

総務大臣賞は、宮崎県西米良村立西米良中学校3年
吉丸 日葉さんの作品

ふるさと西米良村を未来へ残そう！

【統計グラフ全国コンクール】

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆さんに、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施されているもので、(公財)統計情報研究開発センター及び総務省の主催、文部科学省等の関係機関の後援及び協賛により実施されています。

【審査経過】

第64回目を迎える本年度は、全6部門に、全国の小・中学生から一般の方々まで、計26,284作品に及ぶ多くの応募があり、各都道府県の統計グラフコンクールを兼ね

た第1次審査、総務省職員等による第2次審査を経た後、統計グラフ全国コンクール最終審査会(審査委員長:渡辺美智子慶應義塾大学大学院教授)において、部門別に特選6作品が決定されました。

さらに、各部の特選作品の中から特に優れた作品に対して、「総務大臣賞」、「文部科学大臣賞」などの特別賞が決定されました。

【表彰式等】

「総務大臣賞」を始めとする各種受賞作品に対して、平成28年11月16日(水)、東京都渋谷区国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホールで開催される「第66回全国統計大会」において、表彰式が行われます。

平成28年度 総務大臣賞及び文部科学大臣賞

【総務大臣賞】

ふるさと西米良村を未来へ残そう！

〔第4部(中学校の生徒)特選作品〕



宮崎県西米良村立西米良中学校3年
吉丸 日葉 (よしまる ひよ) さん

【文部科学大臣賞】

お話の中の動物たち 世界共通?動物のイメージ

〔第2部(小学校3・4年生の児童)特選作品〕



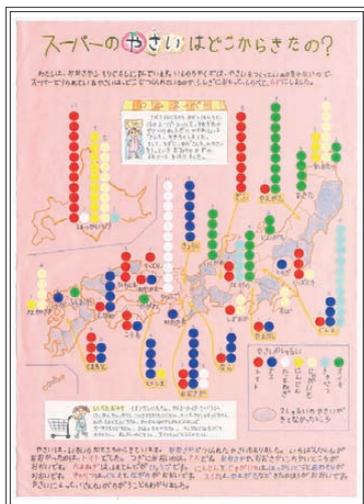
新潟県上越市立春日小学校4年
小川 芽生 (おがわ めい) さん

特別賞及び特選作品

【日本統計学会会長賞】

スーパーのやさいはどこからきたの？

〔第 1 部 (小学校 1・2 年生の児童) 特選作品〕

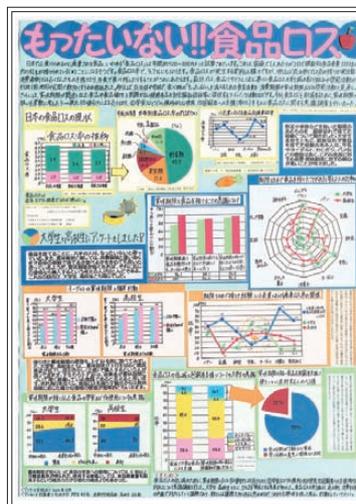


大阪府守口市立守口小学校 1 年
松岡 千穂 (まつおか ちほ) さん

【日本品質管理学会賞】

もったいない！！食品ロス

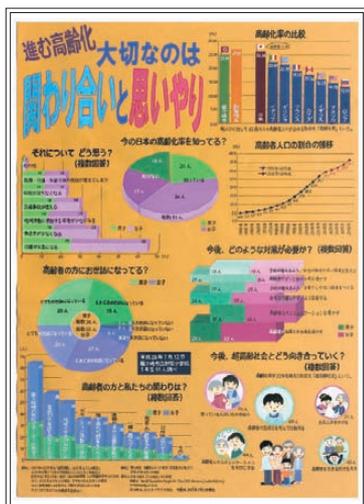
〔第 5 部 (高等学校以上の生徒・学生及び一般) 特選作品〕



福岡県西南女学院高等学校 2 年 木村 紗彩 (きむら さあや) さん
九州大学工学部 1 年 木村 晃久 (きむら あきひさ) さん

【第 3 部 (小学校 5・6 年生の児童) 特選作品】

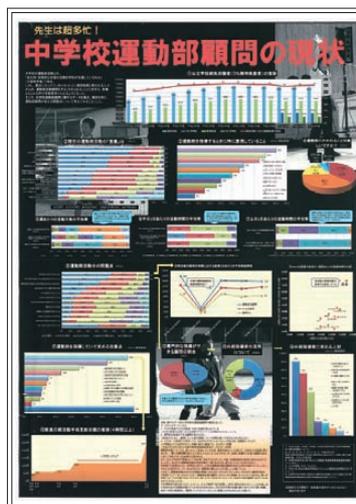
進む高齢化 大切なのは
関わり合いと思いやり



茨城県龍ヶ崎市立馴柴小学校 5 年
近野 豪樹 (この こうき) さん

【パソコン統計グラフの部 (小学校の児童以上) 特選作品】

先生は超多忙！
中学校運動部顧問の現状



栃木県立宇都宮女子高等学校 1 年
坂本 真愛 (さかもと まな) さん

【作品の展示】

これらの入選作品は、「統計の日」関連行事の一環として、10月15日(土)～16日(日)に新宿駅西口広場イベントコーナーで開催した「統計データ・グラフフェア」において展示されました。

また、作品の表彰式を行う「第 66 回全国統計大会」の会場においても展示されます。

なお、各都道府県の統計グラフコンクールにおける入選作品は、各都道府県の展示会にて展示される予定です。



統計データ・グラフフェアでの展示状況

統計データ・グラフフェアの開催について

総務省政策統括官（統計基準担当）室では、「統計の日」（10月18日）の関連行事の一つとして、10月15日（土）・16日（日）、新宿駅西口広場イベントコーナー（東京都新宿区）において、総務省、東京都及び（公財）統計情報研究開発センターの共催により、「統計データ・グラフフェア」を開催しました。

以下、当フェアの様子について、紹介します。

統計グラフコンクール入選作品展示コーナー

統計グラフ全国コンクールの入選作品、東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県内の統計グラフコンクールにおける知事賞受賞などの入選作品を展示しているコーナーでは、国としての大きなテーマから身近なものを観察したテーマまで、様々な視点で作成された作品を展示しました。

来場者の方々も熱心に見入っており、気になった作品の写真を撮っている方もいました。

御来場いただいた入選者や入選者の御家族には、当室から受賞の記念品をプレゼントしました。



統計グラフコンクール入選作品展示コーナーの様子

各府省の統計調査紹介コーナー

各府省の統計調査を紹介するコーナーでは、来場者の方々に国が実施する統計調査への関心と理解を深めていただくため、様々な統計調査について、調査の概要、統計調査結果、活用事例等について紹介しました。

都道府県の企画展示コーナー

都道府県の企画展示コーナーでは、都道府県の誇る統計データを利用したパネルの展示及びそれに関連した配布用パンフレット等の配置をしました。多くの来場者に御覧いただき、展示パネルや配布物の問合せも多数いただきました。



都道府県の企画展示コーナーの様子

前記のほか、今年度の「統計の日」標語の入選作品の紹介や、子供から大人まで身近に学べる統計の紹介などのコーナーを設けました。

総務省政策統括官（統計基準担当）室では、国民の皆様は統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対するより一層の御協力を頂けるよう、これからも取り組んでまいります。

統計に関するニーズ・アンケート

「統計の日」に関連した公的統計の普及・啓発活動時期に合わせて、統計に関するニーズについて、e-Stat（政府が作成・公表する統計データのポータルサイト）上でアンケートを行っています（12月14日（水）まで）。

統計調査ニュースをお読みになっている方はもちろん、それ以外の多くの方にもアンケートに御回答いただきたいと思っておりますので、御協力よろしくお願いたします。

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/anktListView.do?method=init>



小売物価統計調査（構造編）平成27年分結果の概要

小売物価統計調査（構造編）は、物価の地域間比較、店舗の形態別の価格比較などの物価構造を明らかにすることを目的として実施しています。この度、平成27年分結果を平成28年9月16日に公表しましたので、その概要を紹介します。

1 地域別価格差

(1) 都道府県別の物価水準（総合）

平成27年平均消費者物価地域差指数（全国平均＝100）の「総合」を都道府県別にみると、東京都が104.0と最も高く、次いで神奈川県（103.5）、埼玉県（101.7）、兵庫県（101.1）、山形県（100.8）などとなっています。

一方、最も低いのは群馬県及び宮崎県（共に96.4）で、次いで鹿児島県（96.7）、岐阜県（97.0）、佐賀県（97.2）などとなっています。

最も高い東京都は最も低い群馬県及び宮崎県に比べて、7.6ポイント高くなっています。（表1、図1）

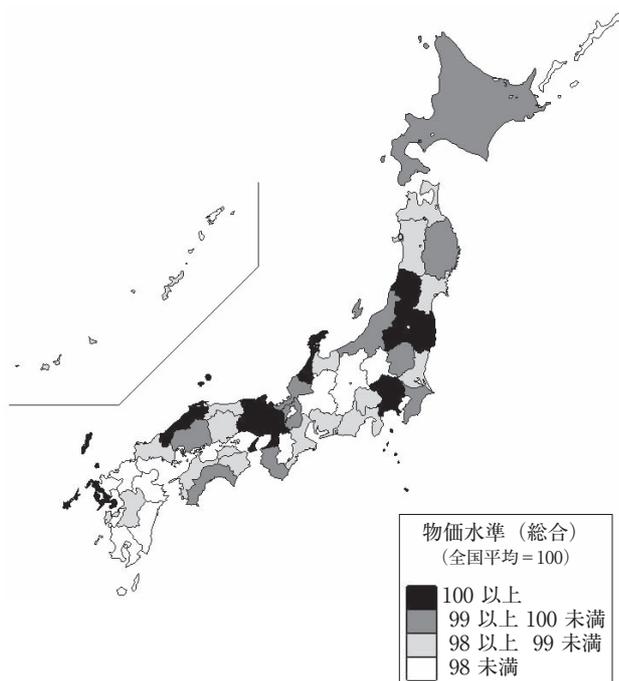
表1 物価水準（総合）上位及び下位5県

（全国平均＝100）

順位	都道府県	指数	順位	都道府県	指数
1	東京都	104.0	43	佐賀県	97.2
2	神奈川県	103.5	44	岐阜県	97.0
3	埼玉県	101.7	45	鹿児島県	96.7
4	兵庫県	101.1	46	群馬県	96.4
5	山形県	100.8	46	宮崎県	96.4

（注）同じ順位の場合は、都道府県コード順に掲載しています。

図1 都道府県別物価水準（総合）



(2) 10大費目別の物価水準

10大費目別に物価水準が最も高い都道府県と最も低い都道府県との比率^(※)をみると、「住居」が最も高く、最も高い東京都（128.0）は最も低い北海道（82.7）の1.55倍となっています。このほか、「教育」（1.43）、「被服及び履物」（1.26）などで比率が高くなっています。

一方、比率が低いのは、「保健医療」の1.06倍で、次いで「交通・通信」（1.08）などとなっています。（表2）

（※）比率＝（最も高い都道府県の指数）／（最も低い都道府県の指数）

表2 10大費目別の物価水準

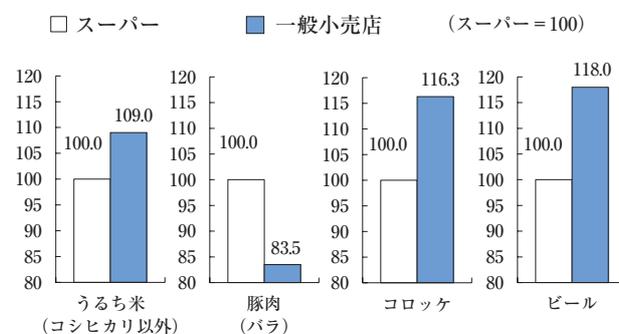
（全国平均＝100）

10大費目	最も高い都道府県	最も低い都道府県	比率
食料	石川県 103.3	長野県 94.2	1.10
住居	東京都 128.0	北海道 82.7	1.55
光熱・水道	北海道 112.4	福井県 90.8	1.24
家具・家事用品	福井県 112.1	鹿児島県 93.2	1.20
被服及び履物	栃木県 115.6	鹿児島県 91.4	1.26
保健医療	山口県 103.5	大分県 97.2	1.06
交通・通信	神奈川県 103.9	岡山県 96.3	1.08
教育	大阪府 113.5	群馬県 79.3	1.43
教養娯楽	埼玉県 104.8	宮崎県 92.2	1.14
諸雑費	兵庫県 103.1	沖縄県 94.2	1.09

2 店舗形態の違いによる価格差

スーパーと一般小売店の価格比較を目的として調査している4品目（うるち米、豚肉、コロッケ及びビール）の結果をみると、豚肉を除く3品目でスーパーの価格が安くなっています。（図2）

図2 スーパーと一般小売店の価格水準



結果の詳細は、次のURLからダウンロードできます。

http://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/g_2015.pdf

「平成28年秋の叙勲」

政府は、11月3日の文化の日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省では、11月9日に品川プリンスホテルにおいて伝達式を行い、総務大臣から受章者に勲章が伝達されました。また、受章者は伝達式後、皇居において天皇陛下に拝謁しました。

総務省における統計関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の榮譽に浴されました。栄えある叙勲にお祝い申し上げます。

【勲章受章者】

○瑞宝単光章

		※敬称略					
水野 敏雄	(北海道)	萩原 泰平	(群馬県)	竹内 福代	(愛知県)		
佐藤 かず枝	(北海道)	干川 不二子	(群馬県)	秋好 良江	(愛知県)		
川原 昇	(北海道)	向井 八千代	(埼玉県)	竹内 隆	(三重県)		
阿部 貞雄	(北海道)	由水 たけ子	(埼玉県)	谷 貞子	(滋賀県)		
清水頭 禮子	(青森県)	宮本 照子	(千葉県)	石井 正純	(大阪府)		
古家 晴子	(青森県)	石橋 絢子	(千葉県)	中野 邦子	(大阪府)		
工藤 敏直	(岩手県)	内山 富雄	(東京都)	岡田 眞砂子	(大阪府)		
小原 忠	(岩手県)	徳江 本子	(東京都)	岡田 君恵	(大阪府)		
氏家 嘉夫	(宮城県)	川原井 さた	(東京都)	小川 マツ	(兵庫県)		
千葉 邦男	(宮城県)	新里 クニ	(東京都)	櫻井 珠子	(兵庫県)		
古川 尚武	(宮城県)	岩瀬 君子	(神奈川県)	末廣 知代	(兵庫県)		
石黒 市子	(秋田県)	三橋 郁子	(神奈川県)	角埜 安信	(奈良県)		
佐藤 太助	(山形県)	栃木 美智子	(神奈川県)	手島 功世	(鳥取県)		
落合 宏司	(山形県)	成嶋 アイ子	(神奈川県)	三船 貢	(岡山県)		
渡部 一美	(福島県)	北村 正常	(新潟県)	結城 サカエ	(広島県)		
小出 京子	(福島県)	田中 忠雄	(新潟県)	西井 節子	(広島県)		
平間 竹治郎	(福島県)	堀井 麗子	(富山県)	椋本 正子	(徳島県)		
木村 宗之	(茨城県)	手崎 久美子	(石川県)	近藤 禮子	(香川県)		
村井 京子	(茨城県)	三井 洋子	(山梨県)	新田 雅子	(愛媛県)		
神山 久子	(茨城県)	葛西 文代	(岐阜県)	川内 勇	(長崎県)		
戸村 圭子	(栃木県)	古田 尚子	(岐阜県)	姫野 一枝	(大分県)		
成田 美代子	(栃木県)	二ノ宮 富久子	(愛知県)				

平成28年度統計研修受講記

特別コース「明日に役立つ統計セミナー」を受講して

東京都総務局統計部調整課 下野 隆照

私の日頃の担当業務の一つ目は、東京都第3次産業活動指数及び東京都全産業活動指数を毎月作成し公表することです。二つ目は庁内から寄せられる統計理論等に関する各種相談への対応です。これら二つの担当業務を精確かつ効果的に遂行していくためには、統計理論に関する専門知識の習得が必要不可欠です。こうした中、今回の研修は『統計学が最強の学問である』の著者である西内啓先生が講師であること知り、本著を興味深く読んだ者としては是非受講したいと考え、研修に参加させていただきました。本研修を受講することによって、リサーチデザインの考え方と仮説検定の考え方を習得し、今後の業務で活用できるのではないかと感じたからです。

まず、リサーチデザインの考え方において最も印象深かったのは、経験に基づく論理的解決法（ロジカルシンキング）に頼り過ぎると、結論を間違える危険性があるというものです。具体例を挙げると、急性心筋梗塞発症後に不整脈で死亡している患者が多くいるという「経験」から、急性心筋梗塞後に抗不整脈薬を投与すれば死亡者を減らせるはずだという「論理」に基づき治療方針を決定することの危うさについての講義がありました。実際に抗不整脈薬を投与したグループと何の効果もない薬を投与したグループとで、その後の死亡率を計測してみると、前者のグループの死亡率が高いという統計的に有意

な研究結果が報告されていることが示されました。証拠に基づいた対処をしなければ逆効果を生む可能性を認識することができ、統計的アプローチの重要性を改めて感じることができました。

次に、仮説検定の考え方については、データの関連性を検証するための基本手法として、t検定とカイ二乗検定を学びました。t検定については、質的データと量的データの関連性を、カイ二乗検定は、質的データ同士の関連性を検証する際に用いるということエクセルの実習を通じて学びました。また、これら検定手法とは別に単回帰分析・重回帰分析の手法もエクセルを用いた実習を行ったことで、それら分析を行うためのノウハウを身に付けることができました。仮説検定、単回帰分析、重回帰分析の手法を用いることで、データ同士の関連性の度合いを判定できるということが体感できたことは、今後の業務にも活かせるものになりました。ただし、今回の研修は1日コースであったため、基礎知識がないと講義スピードについていくことが難しく、内容の理解と知識の定着のためには2日コースが適当ではないかと思えます。今回の講義内容を基に引き続き自己啓発に努めていきたいと考えます。

最後になりますが、熱心に講義していただいた西内先生、研修環境を整えていただいた事務局の皆様方に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

中核市発とうけい通信②7

高槻ってどこ?? 関西の中央にあります!!

高槻市総務部総務課

高槻市データ (平成 28 年 9 月末現在)

人 口 : 354,309 人
世帯数 : 158,638 世帯
面 積 : 105.29km ²

1 高槻市の地勢

高槻市は大阪平野の北東にあって、京都市と大阪市の中間に位置しています。北は北摂山地に連なる山並みと丘陵、南は山間から流れ出る芥川・^ひ尾川などによって形成された平野が広がり、琵琶湖から大阪湾に流れる淀川が市域の南の境になっています。



2 高槻市の歴史

高槻市は淀川・山陽道（後の西国街道）という水陸 2 大交通路の要衝であったため、いにしえより大阪北部の政治的・経済的中心となり、継体天皇の陵墓と考えられる今城塚古墳が築かれました。戦国時代に入ると芥川城に三好長慶が入り、キリシタン大名高山右近も登場、江戸時代になると、高槻城は徳川幕府の重要拠点として近世城郭に生まれ変わり、城下町は繁栄しました。

明治・大正時代を経て、町村合併を繰り返して昭和 18 年 1 月 1 日に高槻市が誕生しました。昭和 30 年代に入ると大規模な工場が進出するとともに、住宅建設も活発化し、大阪、京都のベッドタウンとしての色彩を強め、平成 15 年 4 月 1 日に中核市に移行しました。

今城塚古墳の最大の特徴である^{はにか}埴輪祭祀場には、家、人物、動物など 200 点以上の形象埴輪が整然と並んでいます。大王のハニワ祭が再現されているのは日本でここだけです。



埴輪祭祀場

高槻市のゆるキャラ「はにたん」は今城塚古墳で出土した武人埴輪がモデルです。



はにたん

3 高槻市の現状

高槻市は大阪・京都の中間に位置していることから、両都市への鉄道アクセスが充実しており、今年からは関西空港行の特急列車が停車するようになりました。

また、現在整備が進められている新名神高速道路と名神高速道路を接続する高槻ジャンクションが建設中であり、今まで以上に関西の交通の要衝としての重要性が高まっています。

4 高槻市の風物詩

毎年 5 月の 3 日、4 日に市民が運営・企画する「高槻ジャズストリート」は市内 50 以上の会場で 2 日間にわたりジャズが演奏され、街全体が巨大なライブハウスとなった感覚を味わえます。

世界的に有名なプロからアマチュアまで、4,500 人を超えるミュージシャンが出演し、野外ステージでの一体感や、オシャレな飲食店でライブなど様々な会場で美味しい食事と併せて楽しめるイベントです。



高槻ジャズストリート

最近の数字

実数	H28.	人口		労働・賃金			産業		家計(二人以上の世帯)		物価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人(Pは万人)	万人	%	円	H22=100	兆円	円	円	全国	東京都区部	
	5	126,940	6446	3.2	301,484	94.7	27.4	281,827	313,379	100.0	100.0	
	6	P12696	6497	3.1	528,559	96.9	P28.8	261,452	589,676	99.9	99.8	
	7	P12699	6479	3.0	426,928	96.5	P28.6	278,067	468,137	99.6	99.5	
	8	P12700	6465	3.1	300,048	97.8	P28.5	276,338	391,693	99.7	99.6	
	9	P12692	6497	3.0	P295,714	P97.8	...	267,119	347,541	99.8	99.7	
	10	P12693	P100.3	
前年同月比	H28.		%	ポイント	%	%	%	%	%	%	%	
	5	-	0.7	* 0.0	0.2	* -2.6	-0.6	-1.1	-3.9	-0.5	-0.5	
	6	-	1.1	* -0.1	2.3	* 2.3	P 0.2	-2.3	1.8	-0.4	-0.4	
	7	-	1.5	* -0.1	1.3	* -0.4	P 0.0	-0.5	-0.4	-0.4	-0.4	
	8	-	1.3	* 0.1	0.5	* 1.3	P 0.3	-4.6	0.6	-0.5	-0.5	
	9	-	0.9	* -0.1	P0.4	*P 0.0	-	-2.1	3.3	-0.5	-0.5	

(注) P：速報値 *：対前月
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値
総人口は平成27年国勢調査人口速報集計を基準とした値

掲示板 統計関係の主要日程 (2016年11月～12月)

《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
11月1日	オンライン講座「初めて学ぶ統計(11月)」開講(～12月31日)	12月1日	通信研修「入門2(12月)」開講(～21日)
7日	統計研修 統計専門課程「国民・県民経済計算(11月)」開講(～11日)	12日	登録調査員中央研修(～13日)
8日	第25回ビジネスレジスターに関するヴィースパーデングループ会合(～11日)	14日	滋賀大学との連携協力によるセミナー「データサイエンスセミナー」開講
15日	統計研修 統計専門課程「マイクロデータ分析(Rによる統計解析)」開講(～18日)	16日	第104回統計委員会
16日	第66回全国統計大会		
18日	第103回統計委員会		

《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
11月4日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年9月分速報及び平成28年7～9月期平均速報)公表	12月13日	家計調査(家計消費指数：平成28年(2016年)10月分)公表
〃	小売物価統計調査(ガソリン)平成28年10月分公表	〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年10月分確報)公表
8日	労働力調査(詳細集計)平成28年(2016年)7～9月期平均(速報)公表	20日	人口推計(平成28年7月1日現在確定値及び平成28年12月1日現在概算値)公表
11日	個人企業経済調査(動向編)平成28年7～9月期結果(速報)公表	中旬	平成28年科学技術研究調査結果公表
15日	家計調査(家計収支編：平成28年(2016年)7～9月期平均速報)公表	22日	住民基本台帳人口移動報告(平成28年(2016年)11月分)公表
〃	家計調査(家計消費指数：平成28年(2016年)9月分及び平成28年(2016年)7～9月期平均)公表	27日	労働力調査(基本集計)平成28年(2016年)11月分(速報)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年9月分確報及び平成28年7～9月期平均確報 ICT関連項目：平成28年7～9月期平均)公表	〃	家計調査(二人以上の世帯：平成28年(2016年)11月分速報)公表
21日	人口推計(平成28年6月1日現在確定値及び平成28年11月1日現在概算値)公表	〃	消費者物価指数(全国：平成28年(2016年)11月分、東京都区部：平成28年(2016年)12月分(中旬速報値)及び平成28年(2016年)平均(速報値))公表
22日	個人企業経済調査(動向編)平成28年7～9月期結果(確報)公表	〃	小売物価統計調査(全国：平成28年(2016年)11月分、東京都区部：平成28年(2016年)12月分)公表
25日	消費者物価指数(全国：平成28年(2016年)10月分、東京都区部：平成28年(2016年)11月分(中旬速報値))公表	28日	サービス産業動向調査(平成28年10月分速報)公表
〃	小売物価統計調査(全国：平成28年(2016年)10月分、東京都区部：平成28年(2016年)11月分)公表	〃	サービス産業動向調査(平成28年7月分確報)公表
28日	住民基本台帳人口移動報告(平成28年(2016年)10月分)公表	31日	統計トピックス「西年生まれ」と「新成人」の人口 -平成29年新年にちなんで-公表
29日	労働力調査(基本集計)平成28年(2016年)10月分(速報)公表		
〃	家計調査(二人以上の世帯：平成28年(2016年)10月分速報)公表		
30日	サービス産業動向調査(平成28年9月分速報、平成28年7～9月期速報)公表		
〃	サービス産業動向調査(平成28年6月分確報、平成28年4～6月期確報)公表		
下旬	第66回日本統計年鑑(平成29年)刊行		
12月2日	小売物価統計調査(ガソリン)平成28年11月分公表		
6日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年10月分速報)公表		

編集発行 **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
総務省統計局 統計情報システム課
統計情報企画室 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp
ホームページ <http://www.stat.go.jp/>
御意見・御感想をお待ちしております。